

議会だより



消防団出初式

相次ぐ災害に備え厳しい訓練に励む美郷町消防団員の出初め式風景

主な内容

平成16年度美郷町各会計予算...	2
その他の議案.....	7
一般質問.....	8
人事案件、陳情.....	15
町民の声・編集後記.....	16

平成16年度美郷町予算

一般会計72億4000万円

全会一致で可決

旧2町1村で議決した
16年度各会計予算の
未執行額を基本に調整

合併後の美郷町予算を審議する12月定例会は、12月14日から17日までの4日間の会期で開かれ、上程された35議案全てを原案通り可決した。一般会計72億4千万円、特別会計・国民健康保険12億475万3千円、老人保健15億

5千519万2千円、簡易水道事業5億461万5千円、下水道事業2億3千413万6千円、農業集落排水事業1億2千431万8千円とした。最終日の本会議で、全議案に対して質疑応答が行われ、一般会計、特別会計共に全会一致で採択された。



平成16年度美郷町予算

総額	108億6,301万4千円
一般会計	72億4,000万0千円
(特別会計)	
国民健康保険	12億0,475万3千円
老人保健	15億5,519万2千円
簡易水道事業	5億0,461万5千円
下水道事業	2億3,413万6千円
農業集落排水事業	1億2,431万8千円

町村合併前に計画されていた旧千畑町の農業振興総合整備補助事業、旧六郷町の中心市街地活性化事業、旧仙南村の雁の里整備事業、旧千畑町黒沢地区及び旧六郷町六郷東部地区の簡易水道事業、旧六郷町の下水道整備事業などの普通建設事業の着実な推進と、円滑な行政推進のための一般経常経費など、旧2町1村で議決した平成16年度各会計予算のうち未執行額を基本に調整した。ただし一般会計では、2月13日に予定している合併記念式典、六郷中学校吹奏楽部マーチングバンドの全国大会出場経費及び「あなたと地域の農業夢プラン応援事業」費の追加など、合併後の事由により生じた財政需要を加えた形での予算編成とした。

(町長あいさつより)

本会議での主な質疑をお知らせします

平成16年度

美郷町一般会計予算

市場のことである。

主な質疑

農業振興

森元（淑）議員 ファーマーズマーケット事業の内容を伺う。

農政課長 農家の方々が直売所で農産物を販売する事業で、あつたか山の直売所、JA六郷支所のかあちゃん

谷屋議員 農業夢プラン応援事業で、町の補助割合が、1/6に決まったのはなぜか。対象作物は何か。来年度以降も同じ割合でいくのか。

農政課長 旧町村で補助割合が違っていたため、すり合わせの結果1/6とした。すべての作物を対象と



する。来年度以降も同様とする。

武藤（威）議員 家畜排泄物法が施行されたが、家畜農家への広報や補助はどうなっているのか。

農政課長 家畜の排泄物は野積み、素掘りは禁止になった。底をコンクリートで固め、防水シートを敷き、上は屋根や防水シートで覆うことが義務付けられた。該当農家と対策を話し合う

ている。補助は、上限80万円、2人の申し込みがある。

熊谷（隆）議員 無人ヘリは各町村単位で導入されているが、今後、散布エリアを調整し、的確な防除に努めるべきではないか。

農政課長 旧町村毎に組織があり、統合には時間が必要と思う。圃場整備面からみても、仙南地区は済んでおり、千畑地区は今やって

おり統合は終わってからはべきと考えている。

戸沢（藤）議員 現在仙南地区には無人ヘリの防除協議会があるが、美郷町全体をカバーする協議会に拡大する考えはないのか。

農政課長 各地域が一定の計画に基づいて運営しており、統合はむずかしい。

町長 各組織のこれまでの経緯、経営方針がある。行政側で各団体の意向を確認し、話し合いのできる体制の設置に向けて考えたい。

合併関係

森元（淑）議員 合併記念式典の内容を伺いたい。

町長公室長 式典は、2月13日にアスパルで開催を予定している。総務大臣表彰や感謝状の贈呈、記念講演等を予定している。町の木、花、鳥、魚等の制定、全戸に記念品の配布を考えている。

高橋（久）議員 年度末での退職者は何人か。

総務課長 4名が自然退職する。

高橋（久）議員 16年度は職員の採用をしていないが、合併の大義である経費削減により新規職員、臨時職員の採用をひかえることは、住民サービスの低下にならないのか。

総務課長 現状の職員体制で支障がないと考えている。17年度以降は、採用を予定している。

町長 職員減が住民へのサービス低下にならないよう職員の資質向上、職員研修に努める。新規採用は、業務推進状況を見ながら判断したい。

高橋（猛）議員 合併協議会で想定した数値は、事業展開した現在、基金や起債は想定した範囲内か。また、新町建設計画の財政計画による地方交付税収入55億円は可能なのか。

総務課長 今年度の地方交付税は、当初、前年比6・5%減の56億8千万円だが、来年度は実質10%減で

計画を進めている。合併協議会のシミュレーションよりも起債が上回っている。

町長 協議会の試算では、交付税が毎年5%減であったが、実際には6・5%減になった。国からの税財源の移譲が示されず、国の方針を待ち、対応策を講じた。

ごみ問題

吉野議員 千畑のごみ最終処分場の業務委託とは廃止を前提としたものか。

住民生活課長 ごみの処分場の法が厳しくなり、県からの廃止に向けての指導もあり、旧千畑の最終処分場の廃止と整備に向けての関係委託である。

戸沢（藤）議員 生ごみ処理容器設置補助金の具体的な内容は、

住民生活課長 実施されている地区が六郷、仙南であるが、17年度からは美郷町全体に統一する。



学校管理

吉野議員 金沢小学校の障害を持つ児童の階段移動用に昇降機をつけるという件で、移動は障害児に負担がかかる。必ず学年全員上の階へ上がらなくてもよい方法は無いものか。

学務課長 学校側と子供たちの希望とあわせ、安全を確保し設置の判断をした。
教育長 この件を大きく取り上げることは、その子に対するプレッシャーやスト



レスになるため一定の配慮をして決めた。
町長 学校並びに児童からの要望を踏まえ提案したが、なお一層学校とは協議したいと思う。

幼保関係

武藤（威）議員 幼稚園の使用料と保育園の負担金の違いを説明してもらいたい。
幼児教育課長 保育園の場合は、負担金であるから県、町、保護者も出し、負

担金で運営する方法である。幼稚園の場合は、公の施設を使用することで予算措置でちがいが出る。

奨学金関係

武藤（威）議員 奨学金を貸し付けた人数の内訳は。

学務課長 大学生が213人、専門学校が6人、高校生が9人となっている。

納税方法

武藤（威）議員 納税組合

がプライバシー関係で問題になっている。納税方法を考えるべきではないのか。
税務課長 納付の方法として、納税貯蓄組合を通じて納付する方法と口座振替制度を利用する納付方法があり、個人の選択である。

委託業務

村田議員 委託料の予算が多く計上されているが、複数の業者に入札させて委託しているのか。随意的か。



総務課長 全部入札して行っている。

村田議員 管理契約委託しているだけで、特に点検、調査がなくても毎月支払いが生じるケースがある。修理、交換料は別途請求される不平等な契約内容がある。契約内容の見直しや新規業者の参入の考えはあるのか。

町長 保守管理については通常使える状態を維持するための委託であるが、各々

のケースによって内容に違いがある。新規業者参入については、案件が特殊なものもある。いずれ公平性に配慮した委託にする。

環境整備

村田議員 農業集落排水特別会計で一般会計から繰出しがある。特別会計の設置意義上、問題でないのか。

建設課長 事業をする場合補助金、交付税、起債を借りて行うが、これでも足り



ない分を繰出し金で賄うた
めお願いした。

観光関係

村田議員 国道や県道には旧町村名の看板、案内板がかなり残っている。交換の時期はどうなっているのか。

商工観光課長 非常に金額がかかるものであり、大仙市等の動向をみて早急に話し合いをする。



健康問題

村田議員 今大きな社会問題になっている妊婦出産時の止血剤の薬害によるC型肝炎患者の急増に助成や指導対策を考えているのか。

福祉保健課長 県からの連絡で該当者は、保健所に連絡するよう指導があった。町としては、早速広報で知らせる。

斉藤（正）議員 保健セン

ターに職員を配置しない経緯について伺う。

町長 担当者から意見を聞き、3町村長で職員数の配置を協議して決定した。

公園管理

斉藤（新）議員 松くい虫の防除の場所はどこなのか。

農政課長 旧千畑町の千屋小学校前の松並木、仙南村の雁の里公園の周辺である。

負担、交付金

泉（美）議員 自衛隊入隊予定者激励会負担金の根拠は何か。

住民生活課長 自衛隊の募集等に要する費用として委託費を交付されており、自衛隊入隊予定者の説明会での昼食代である。

温泉施設

佐々木（正）議員 美郷町には、温泉が3つあるが、3施設の経営形態と経営方針を伺う。

商工観光課長 温とびあ雁の里温泉は町直営、あった

か山は有限会社に委託、サン・アールは株式会社に委託している。

町長 経営形態に違いがあるが、温泉施設を住民福祉や観光施設として活用していきたい。目的に合った経営形態も今後検討したい。

債務関係

佐々木（正）議員 地方債の残額が166億4千500万円だが、適正な額と考



えているのか。
町長 債務は、一定の健全な財政運営を目指し、財政指標の範囲内にとどめるよう努力したい。

生活関係

斉藤（正）議員 カーブミラーや防犯灯、街灯の設置は計画的に行っているか。

住民生活課長 旧町村で予算措置が異なっている。内規はあるが、犯罪予防や児



童等らの安全確保の観点で、要望の有る箇所に設置している。

消防施設関係

藤田議員 消防施設費予算に、機械器具費として90万4千円が計上されているが、この内容について伺いたい。

住民生活課長 六郷地区に新規に3台のポンプ積載車を導入するための予算である。なお、これまで千畑地区に5台、仙南地区に10台の積載車が配置されている。

平成16年度美郷町国民健康保険特別会計予算

全会一致で可決

平成16年度美郷町老人保健特別会計予算

竹村議員 老人保健の年齢は5年スライド式では72歳以上と思うがどうか。

住民生活課長 対象者は75歳以上、65歳以上の寝たきりの障害者、それに平成14年度70歳に達した者となっている。

全会一致で可決

平成16年度美郷町簡易水道事業特別会計予算

全会一致で可決

平成16年度美郷町下水道事業特別会計予算

全会一致で可決

平成16年度美郷町農業集落排水事業特別会計予算

全会一致で可決

12月定例会で 審議された その他の議案

平成17年度地方交付税所用総額の確保に関する意見書提出について

全会一致 可決

(意見書を提出)

秋田県市町村会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少について

全会一致 可決

秋田県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体の数の減少及び秋田県市町村総合事務組合規約の変更について

全会一致 可決

秋田県町村土地開発公社の定款の一部を改正する定款

全会一致 可決

仙北東部特別養護老人ホーム一部事務組合規約の変更について

全会一致 可決

農村振興総合整備統合補助事業における町営土地改良事業の計画概要の決定について

全会一致 可決

工事請負契約の締結について

平成16年度特定交通安全施設等整備事業 大坂善知鳥外川原線改良舗装工事 美郷町浪花字丸森下地内 契約金額 5千701万5千円

(内) 消費税 271万5千円
入札方法 指名競争入札
契約者 はりま建設株式会社

全会一致 可決

美郷町議会広報特別委員会設置に関する決議について

全会一致 可決

一般質問

14人の議員が新町長の考えを問う



村田 薫 議員

質問

県内第一号の合併で注目されている美郷町は今、百年の礎を築こうと出発した。町長は今回の選挙戦でたくさんの方の公約を当選した。先の合併協議会では、合併後の新町建設計画の早い実現を望んでいる。旧町村が



煙山多三郎 議員

質問

秋田県第一号で合併した我が美郷町が、県内の模範たる町づくりをするには、議会と執行部が車の両輪のように進むことが大切であ

質問 町長の政治姿勢について

均衡ある発展に努める

答弁

答弁 町長

らの継続事業、さらに緊急事業の発生も考慮しなければならぬ。今、国の三位一体の改革により補助金、交付税の主要財源が激減し、当初立案した財政計画の見直しは必須だ。この厳しい財源で選挙公約、新町計画、継続事業等を地域の均衡ある発展にどのように連結して進めるか、町づくりの目標理念を伺いたい。

財政状況を踏まえながら、地域に必要な事業を明確化し、両者のバランスをとって町政運営していく。リストアップされた新町建設計画と選挙公約項目を重ね合わせた10年間スパンの新町建設計画から、前期実施計画としての4年間の中で、継続事業を含む新町建設計画と選挙公約項目が整合す

質問 議会との対応について

行政推進上の両輪と認識している

答弁

る。合併に伴い地域、予算等が大きくなり難儀、苦勞と思うが、町長は議会との対応を今後どのように進めていくのか、具体的に伺いたい。

答弁 町長

町長部局と町議会は町政推進上の両輪であり、課題

等への対応は、私の考え方や判断、方針等を説明し、理解をいただきながら町政の推進に一体となつて取り組んでいきたい。そのためにも、議員各位に私の考えや方針等について理解いただくよう意思疎通を図つてまいりたいし、それ以外に

るようにしたい。また、地域の均衡ある発展には、課題等を把握しながらバランスを大切にしたいと町づくりを目標にし、各般の取り組みに邁進したいと考え、これまでの各地域が培ってきた特徴や特色を大切にするとともに、新たな特徴をはぐくみ、古さと新しさが同居する美しき郷になるよう頑張りたい。

答弁 町長

活力の引出し策は。行政の効率化に留意しながら自立性を高める方向で臨む。

質問

町長戦で生まれた心の垣根の解消策は。

答弁 町長

集落座談会、ふれあい談話会、各種行事等を実施し、地域間の協調や融和を図る。

質問

地方分権に伴い、自治体の自立性を高めるため民間

も様々な機会を通じて交流させていただき、意思交換や協議をする中でご理解、ご協力をいただき、両輪として同じ方向と速度で進んでまいりたい。

質問

町民の感情を修復するために町長はどのように考えているか。

答弁 町長

選挙後に感情的なあつれ

きが残ることは、選挙制度や民主主義の観点からは望ましいことではない。一人一人に公平性をもって接していくことが、町民各位の冷静さを助長し、さらには感情のあつれきも解消され、一体感ある美郷の形成につながるかと信じている。



吉野 久 議員

質問

合併協議の過程で住民に示された新町建設計画を、地方自治法上策定が義務づけられる新町基本構想にどう反映されるのか。

役場が元気でなければ町は活性化しない。町が活性化しなければ住民は幸せを



深沢義一 議員

質問

合併により誕生した美郷町においての町づくりは、町長も申されておる通り、融和と前進がキーワードであると考える。

中でも、その基礎となる情報の共有化と人材の育成は最重要課題であると考える

質問 どうする町づくり

町民に情報発信をしたい 答弁

実感できない。役場の組織と職員をどう活性化させるのか。

合併本来の目的は、自治体自らの知恵で財政難を克服しながら、地方独自の個性を活かした住民参画・協働の町づくりにある。町民の町づくりへの理解と、参画・協働の意識をどう醸成していくのか。
以上の点について町長の所信を伺いたい。

質問 町づくりについて

各種施策を実施 答弁

が、次の点について町長の考えを伺いたい。

情報の共有化と言う融和のための施策であり、安心・安心のための施策でもある防災行政無線の設置に向けた町長の考えは。
前進の基礎となる人材の育成に向けた次の4項目についての町長の考えは。
小中学生を対象とした子

答弁 町長

新町建設計画、基本構想ともに美郷町の将来を築いていくためのものであり、今後策定する基本構想については、新町建設計画との整合に十二分に留意しながら総合的かつ長期的な展望に立った構想としたい。
職員数は柔軟な対応が可能な人数であるが、今後さまざまな課題等乗り越

答弁 町長

供議会の開催。
中学生を対象とした海外研修の実施。
女性の声を生かす施策としての女性議会や各種研修事業の実施。
農業・商工業における担い手育成研修の実施。
防災行政無線については、防災計画の策定にあたり、

答弁 町長

町民にわかっていただくよう留意しながら取り組む。

質問

専門知識を持つ技術職の採用はどうか。

答弁 町長

さまざまな資格を有した方々の応募・合格を願う。

質問

職員が町民の中に飛び込む姿勢が大事では。

答弁 町長

職員が現場に出向くのは当然のことと考えている。

災害情報伝達の有効な手段として、郡内の設置事例調査等を行ないながら検討してまいりたい。
総合学習等の一環として地域に学び、郷土に関心を持つ観点で学校の要望があれば実施してまいりたい。

旧町村でも実施しており、今後とも生徒達が国際的社会的教養を持ち、広い視野を持った人材に育って行くよう3中学校を対象に実施してまいりたい。
男女共同参画を積極的に

意欲ある担い手農家に対して関係機関との連絡をとりながら支援体制を整備するとともに、商工業における担い手育成についても商工会に補助金を交付するなど、各種研修等への支援をしてまいりたい。



大久保伸一議員

質問

町長の所信表明で述べられている「町民の目線に立った、町民の声を大切に町政に反映させる町政の運営、実現のために！」の観点から質問する。町民の公



谷屋 誠市 議員

質問

減反が強化され、米価の先行きも不透明な中、収入の確保と減反の消化などのため、野菜や花などに取組んでいる農家も多い。収穫出荷作業や定植など、一時的に多くの労力が必要な時、病気の時など、休みを取る

質問 これからの町づくりの進め方について

住民参加による取り組み

答弁

聴・住民参加のこれからの町づくりの進め方においては、何よりもまず町民と行政の信頼関係の構築の上に始まると考える。

答弁 町長

点について町長の見解を伺いたい。

町長面会日を設けては。移動町長室や集落座談会の開催は。これからの自治の有り方として住民参加の町づくりが肝要では。以上の

町長面会日を設けては。

移動町長室や集落座談会の開催は。これからの自治の有り方として住民参加の町づくりが肝要では。以上の

来年1月より町民の懇談の日を定め「ふれあい談話室」と称し、町民からの行政人の意見、要望等を直接聞きたいと思っている。月1回の開催を計画しており、第2火曜日が千畑庁舎

質問 農業ヘルパー制度の導入を

シルバー人材センターの活用を

答弁

ことが難しく、対応に苦慮する事もある。

今後、減反は更に増え、水田面積の半分までになる

とさえ聞く。そうした中、規模を拡大し、安定した経営を目指す農家を支援するため、農業ヘルパー制度、農業ヘルパーセンターの設置を提案したい。

答弁 町長

た制度を期待する。

定植や収穫など一定期間に労働力が集中し、家族労働力だけでは必要となる労働力確保は困難となる場合が想定される現状である。

町でも先例を研究すると共に、JAをはじめ各関係

共に、JAをはじめ各関係

第3火曜日が仙南庁舎、第4火曜日が六郷庁舎と設定したい。集落座談会については、直接地域に出向き町政について意見交換できる

よう検討している。このほか、町政提案箱、電子メールによる公聴も計画しており、意見、質問、苦情などに迅速に対応していきたい。

これからの自治体のあり方等については、住民参加のもとで地域づくりが推

しを活用している農家もあり、延べ358人の派遣実績がある。必要とする労働力の質と量をいかに確保するかが課題であり、地域の話し合いの中で役割分担を

明確化するとともに、シルバー人材センターの活用により経営規模拡大や低コスト農業を実践していただき

たいと考え、現段階では農業ヘルパー制度、農業ヘルパーセンターの設立は考えていない。

進されることは当然のことであり、各地域でこれまで地域づくりに活躍してきた住民団体と連携を図りながら、町づくりをしていく。これからの施策展開は、住民が参加し企画立案していく取り組みを促していきたい。

質問

職員のやる気を引き出し一体感をもって町民のために意欲的に仕事をしてもらうために、どのような事を考えているのか。

答弁 町長

職員の発意や工夫を大切にするスタンスで職員に接し、将来的には人事交流も視野に入れて役場組織や職員の活性化を図っていく。



武藤 威 議員

質問

地方自治体は住民が国や地方の政治行政に対して、住民の意思や要望、要求などを反映させていく最も身近な場であると考えるところである。合併によって住民と町行政との間が遠くな



飛沢龍右エ門議員

質問

町長は所信表明において自らの信念について公平、誠実、展望の3つを掲げており、特に公平を大切にしたいという事であるが、公平さを持つて行政に当たるといふ事は、美郷町民が特

質問 町民の求める要望や意見の対応について

住民ニーズは的確に

答弁

らないように、相談ガイド、暮らしガイド等の発行や、総合相談コーナーの設置や町長自ら町民の生の声を聞く体制も必要と思うが、考えを伺いたい。

答弁 町長

町民の皆さんがどのよう
に考え、何を望んでいるのか等、さまざまなニーズを

質問 町民への公平について

配慮したい

答弁

別な分け隔てのない生活を営むことであると考ええる。文化的時代に非常に飲料水で悩んでいる町民もあり、公平な立場で行政執行をしていただきたい。

また、農政における補助事業において、大規模圃場整備事業に対する旧3町村の補助が同一ではないと思

て、よりわかりやすく集約した冊子を配布したいと考えている。

質問

美郷町民総ぐるみの町づくりを進める上で、予算について住民と懇談するという活動も必要であると考え

町内会、部落等の気軽に参加が出来る場所で、身近な課題について素直な意見交換を行ない、予算編成に

反映させていくべきと考え

答弁 町長

集落座談会等、地域住民の皆さんとの懇談の場で行政課題の提起から、その解決策等が議論される事は、とても望ましい事であり、住民ニーズを的確にとらえ、公平性を保ちながら、その施策の具体化を進めてまいりたい。

え、意見交換する機会を大切にし、それぞれの地域で優先させたい課題が何かを把握するとともに、その課題が全町的に見て住民生活に欠かせない整備であれば早急に対応策を講ずるなど、各地域の公平性に配慮してまいりたいと考えている。また、現在実施されている圃場整備事業や、計画が策定されている地区への補助については、これまで

の経緯等を踏まえて従前の補助を継続していきたいと考えている。

町民や地域に対して公平性を担保していくためには、まずは町民各位の声を大切にすることが必要と考

われるが、今現在事業採択に向けて事務を進めておる地域もあり、旧町村どおりの補助対策が美郷町として継続できるのか伺いたい。

答弁 町長



高橋福松 議員

質問

新町になって人件費の削減など大分行ってきているようだが、事業の入札においても指名とか一般競争とかがあり、企業の努力による一般競争入札が望ましいと私は思っている。青森県に研修に行った際、庁舎、



竹村由広 議員

質問

町長の所信表明の中で交流人口の増大を図っていきたい旨の内容があったが、旧3町村で実施してきた都市交流は美郷町になって実施していくのか。今後この事業を行う場合どのような

質問 入札制度について

公平性と迅速性を大切に

答弁

図書館、社会福祉施設など、すべてを一つに集めた建物をつくるべき、一般競争入札にしたら数億円違ったであろうであり、そういうことも考慮に入れた今後の入札制度を考えていくべきではないか。地元企業等のことを考えると一概にそうはできない面もあるが、こうしたことも新町の前進ではないかと思われる。

答弁 町長

入札制度については公共工事等の多くが経済活動や生活の基盤となる社会資本

質問 地域間交流の促進について

何らかの形で交流を

答弁

な形態で実施するか伺いたい。六郷地区では大田区六郷、茨城県つくば市や台湾瑞穂郷、千畑地区では茨城県千代田町、仙南地区においても栃木県小川町との地域間交流が行われて現在に至っており、このような交流は合併を期に廃止するのではなく、今まで以上に交流を深め、人的交流ばかり

答弁 町長

地域間交流は旧3町村に

の整備を行うものであり、その契約に関しては皆様の誤解を招くことがないようにするとともに、適正な施行を確保する。これを請け負う建設業等の健全な発展を図るべきと考えている。その上で入札制度については、事業の趣旨や内容により最小の経費にて、よりよき成果が得られるような入札の契約形態を取り入れていきたい。ただし、一般競争入札とした場合、数百家とも言われる県外の業者が

多数参加し、地元業者が不利になることが予想されるため、難易度の高いものについては、一般競争入札にすべきではないかと考えている。県と同様の考え方で、入札制度に地元業者の育成の観点を持ちながら事業発注に公平性と迅速性を大切にし、さらに町の財政に配慮した手法を取捨選択して対応してまいりたい。

において人的交流や物販などの物的交流を行ってきた実績がある。大田区六郷、千代田町、小川町、つくば市との交流については、これまで培ってきた交流の実績を大切に、当面は各地域ごとの交流を基本として今後も継続して人的交流を行ってまいりたい。また、姉妹都市の提携について台湾の瑞穂郷とは平成13年に友好交流提携を結んでいるが、大田区初めほかの地域

とは結んでいない。今後それぞれ地域の地域と美郷町としての交流のあり方も含めて、協議を重ねてまいりたい。質問にあった美郷町と同じ地名の町との交流については、島根県的美郷町、埼玉県の三郷町、熊本県的美里町の3町があるようだが、相手の意向もあるが何らかの形で交流を図れればと考えている。



齋藤正衛議員

質問

これは町の存亡にも係る問題だ。一つの町の施策で出生率の低下の改善は難しいが、子育て支援策を充実させ、住宅地や働く場を確保し、若い夫婦の流出を防ぎ、まわりから迎え入れることは可能だ。この為の営



武藤 健 議員

質問

国保はたび重なる改定で、最も重税感を感じるものになった。国保税は前年所得に翌年賦課されるが、翌年に失業、病気等で支払いが困難になる場合が少なくない。減額免除の制度があるのだから広報等で広く

質問 少子化対策について

子育て環境の整備

答弁

業活動の出来るスタッフが不可欠と考える。

人口減少が続くなか、当局は十年後二万一千人にとどめるとして、思い切った対策が必要と考える。

答弁 町長

子どもを産むことについては個人の価値観などの部分もあり、行政の関与には限界がある。公営住宅の整備や宅地分譲を進め、教育

質問 資格証明書の交付について

いたらないよう臨みたい

答弁

町民の皆さんに知らせるべきだ。資格証明書の交付は国保税を納めることが困難な世帯から保険証を取り上げる制度でひどすぎる。弱い者に温かい手を差し伸べる町政こそ地方自治の本旨だ。滞納世帯と相談しながら資格証明書は交付すべきでない。

次に美郷町の災害の備えについて伺う。平成16年は

環境や働きやすい子育て環境の整備などソフト面の充実もはかり、少子化に歯止めをかけたい。営業活動もこなす職員配置については事業が決定するまで、明確にできない。住民が住み続けたい、子供や孫の世代も住み続けさせたいと思う環境を作っていくのが大事だ。

質問

当局は合併により住民サ

台風が10回も上陸、中越地震も含めて災害の多い年でしたが、火災、風水害、地震等の災害に対して美郷町の備えは万全か。災害時の避難場所を再確認し広報等で知らせるべきだ。町民の命と財産を守る大事な問題だ。備品等も点検して災害時に備えるべきだ。

答弁 町長

国保の減免措置につい

ービスは高い方に、負担は低い方に合わせる約束したが、町長はどう考えるか。

答弁 町長

合併協議の中で決めている項目についてはその理念で臨むが、住民負担と住民サービスは不離一体の関係であり、バランスを考えながら取り組んでいく。

質問

六郷保健センターを子育て支援センターとしての役割も合わせ持つ、中央保健センターとして職員を配置

し、内容を拡充させる事は出来ないか。

答弁 町長

現在の保健体制は、福祉や医療との連携を図るため、千畑庁舎に一元化している。中央保健センターの計画はなく職員の常駐は考えていない。

質問

各種証明書の交付を電話等で予約し、時間外に受け取ることとはできないか。

答弁 町長

今は実施を考えていない。今後需要を把握し検討したい。

て、町民に広く知らしめることについては、制度自体を広報で周知するよう努める。資格証明書については、被保険者間の負担の公平を確保し健全な国保財政運営に資するためには致しかたないと考えるが、よく相談して分割納付等で資格証明書の交付に至らないように臨みたい。

次に災害時の備えについてだが、旧3町村の防災計画でしっかり決まっております。大丈夫と認識している。

ただ備品や備蓄には各地域に差異がある。今後美郷町防災計画を策定する中でしっかりと検討し必要な備品は計画的に整備したい。

現在の備蓄物品は、毛布が450枚、土のう、給水タンク等を備蓄している状況だ。六郷庁舎に自家発電装置を具備すべきとの観点から早急に対応する。避難場所等については広報等で周知徹底をする。



泉 美和子 議員

質問

住民がいつでも気軽に訪れ健康や育児等の相談ができ、町民の健康を守る等として定着しその役割を果たしている保健センターを、常時開設せず、職員を千畑庁舎に統一した今回の措置



佐々木 正 議員

質問

所信表明の中で、農業振興については、消費者の求める安心安全を大切にしてい

質問 合併後の諸問題について

町民の声を取り入れながら

答弁

は、行政側の都合で効率化のみを優先させたものであり住民サービスの後退そのものだ。元に戻すべきだ。

このような施設こそ地域住民のニーズに応えたものにするべきだ。

答弁 町長

公民館、体育館も毎週月曜日が休館日と統一された

常駐しなくても機能發揮できると考える。

が、いつでも利用できた地域にとつては不便になった事であり、サービスを後退させないと言ってきた事に反するものだ。

住民の健康管理の充実を図るために、保健、医療、福祉などの連携や情報交換を密接に行うよう、現在千畑庁舎を保健活動の拠点に

質問 美郷町ブランドの確立について

イメージ戦略を...

答弁

だが、JAでもブランド化した、全国の区のようなものはない。どのような物を、具体的にイメージを持った農産物をブランド化するの

は触れられていない。職員の給与も合併の一因だ。職員給与に不公平を感じている町民は多々いる。

か伺いたい。次に職員の給与について、3町村が合併して美郷町がスタートした。合併は日本のリストラだ。町村長、議員の削減、10年後は職員も100名ほど減らすという。しかし職員の給与について

県職員の年収41歳平均で69.8万円、旧仙南村の職員が平均57.3万円、六郷の全給与所得者の平均は271万円です。町長この年収を見てどう思うか。

答弁 町長

消費者に認知してもらおうよう取り組む。美郷ブラン

している。各保健センターについては、各検診事業、妊娠、乳幼児健診相談等を従来どおり実施している。

携強化を図り住民サービスに努めるので理解いただきたい。

ほかに健康相談日も設けて相談や指導活動を展開しており、月1回から2回の健康相談を実施する。地域住民の健康相談窓口がより身近になることはさまざまな観点から望ましいと考え、各センターとも週1回は定期的な健康相談を実施し保健、医療、福祉など連

次に公民館、体育館の開館については、利用状況、財政状況を踏まえながら、利用する町民の声を大切に決定する。休館日は増えただけ取り入れながら規則を制定したところだ。

ドについてだが、消費者は食に安全と安心を求めている。美郷町には清浄な清水があり、低農薬や有機栽培を重ね合わせると、安心感を伴う農産物イメージがわく。今後一層激化する産地間競争には、消費意欲をそそるイメージ戦略が不可欠だ。農産物のイメージは米を初め、重点作物として位置づけられるアスパラやホウレンソウ、キュウリ、トマトに付加していくことが必要だ。一定の栽培基準をJAを含む任意団体等の農

業者と連携を図りながら策定し、高品質の付加価値農産物を生産する。さらに、包装等で美郷ブランドの名称を統一使用し、市場流通でも優位性を確保し、付加価値農産物として消費者に認知されるよう取り組む。次に職員給与についてだが、国家公務員を100としたラスパイルス指数だと、10ポイント位低い。異業種との比較では、高い平均年収となっているが、単純比較はできないと考えている。

人事案件（委員の選出）

次の委員について、同意案が提出され、全会一致で同意、選出されました。

選挙管理委員会委員



鈴木喜美夫
（千畑）



田沢 徹
（千畑）



栗林 久雄
（六郷）



澁谷 幸雄
（仙南）

教育委員会委員



高橋 福雄
（千畑）



佐藤 孝
（仙南）



後藤 貴子
（六郷）



照井 成一
（仙南）



清水 猛
（六郷）

監査委員

固定資産評価審査委員会委員



藤田 智
（仙南）



小西 弘蔵
（六郷）



泉 龍弘
（千畑）



佐々木順吉
（六郷）



久米 力
（仙南）

以下の4件を採択して意見書を提出しました。



陳情



「食料・農業・農村基本計画」見直しについての陳情書

秋田県労農市民会議 議長 石田 寛

WTO・FTA交渉に関する陳情書

秋田県労農市民会議 議長 石田 寛

県立高等学校の図書館の充実をめざす

意見書提出を求める陳情

秋田県高等学校教職員組合 執行委員長 佐々木 章

「あきた教育新時代創成プログラム」の策定・実施を

急がず、県民の十分な議論の保障を求める陳情

秋田県高等学校教職員組合 執行委員長 佐々木 章

趣旨採択としました。

安全・安心の社会保障制度の確立を求める陳情書

秋田県社会保障推進協議会 会長 渡辺 淳

継続審査としました。

教育基本法「改正」ではなく、教育基本法に基づく施策を進めることを求める意見書を政府等に提出する事を求める件

自由法曹団秋田支部
第一合同法律事務所 事務局長 弁護士 狩野 節子

町民の声

うれしい三つの発見



鈴木 要さん
(六郷)

町広報紙が、カラフルになり読みやすくなったこと。
町広報紙の「戸籍の窓」欄を掲載する、しないと選択制にしたこと。
町の健診用紙に封筒が、添付されてきたこと。
小さな事だが大事な一歩に思える。好い町になりそうだ。

議会の動き

11月 1日 美郷町誕生
10日 平成16年第1回臨時会(～11日)
議会広報委員会
18日 議会広報委員会

12月 1日 議会運営委員会
議会全員協議会
10日 議会運営委員会
14日 平成16年第2回定例会(～17日)
総務常任委員会
議会広報委員会
15日 教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
17日 議会広報特別委員会

1月 12日 議会広報特別委員会
18日 平成17年第1回臨時会
教育民生常任委員会
産業建設常任委員会
議会広報特別委員会
21日 議会広報特別委員会
24日 教育民生常任委員会(～25日)



12月定例議会の傍聴ありがとうございました。
次の定例会は3月上旬の予定です。
皆さんが選んだ代表が、議場でどんな発言をしているのか、また町の執行部がどんな施策を行おうとしているのか、自分の目で、耳で確かめ議場の雰囲気を肌で感じ取って下さい。
詳しくは議会事務局へ
電話 0187 84 1111

美郷の里



みさと町議会だより第2号をお届けします。今回は12月定例会の内容についてお知らせします。

町政に対する一般質問、平成16年度予算案、人事案件では、町の各委員の選任、同意などを掲載しました。年末から続く大雪で、雪かきなどの重労働により体調を崩さないよう厳しい冬を乗り切りたいものです。暖かい春が待ち遠しく感じられます。町議会としても県内第一号の合併にふさわしい、手本となるまちづくりが行われるよう努力してまいります。

なお、表紙の議会だよりの字は、後松一成議長に書いていただきました。

- 議会広報委員
- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 村田 薫 |
| 副委員長 | 久米 章弘 |
| 委員 | 谷屋 誠市 |
| | 田口 繁男 |
| | 中村 利昭 |
| | 戸澤 勉 |
| | 武藤 健 |
| | 熊谷 隆一 |
| | 深沢 義一 |
- (議席順)